

2018 年 1 月 19 日

各 位

旭化成株式会社

ナイロン 66 繊維「レオナ™」の生産設備増設決定について

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅）の繊維事業本部では、このたび、宮崎県延岡市においてナイロン 66 繊維「レオナ™」の生産設備増設を決定しましたので、お知らせします。

1. 背景

当社のナイロン 66 繊維「レオナ™」は高強度、高耐熱、高耐久、軽量という特性を有しています。エアバッグ向け原糸やタイヤの補強材として、自動車産業を中心に広く工業資材分野に採用されており、品質の高さが評価されています。当社の中期経営計画「Cs for Tomorrow 2018」では、繊維事業を含むマテリアル領域において「自動車」を重点事業の一つと位置付けていますが、近年「レオナ™」の主力用途である自動車用エアバッグは、アジア地区での自動車生産台数の増加、および各国での安全に対する要求の高まりにより、搭載率が上昇しており、今後も成長が見込まれています。このような背景から、今回生産設備の増設を決定しました。

2. 増設の概要

- (1) 立 地 : 宮崎県延岡市
- (2) 生産品目 : ナイロン 66 繊維「レオナ™」
- (3) 増設能力 : 約 5,000 トン／年
 (現有能力は約 33,000 トン／年)
- (4) 工 期 : 2018 年 2 月着工予定、2019 年度上期稼働開始予定

3. 繊維事業本部レオナ繊維事業部長：吉野 龍二郎のコメント

「自動車生産台数の増加や安全規制の強化、使用部位の増加によるエアバッグ需要の高まりを受け、ナイロン 66 繊維の生産設備増設を決定しました。当社はさらなる事業の拡大を目指し、次期増設の検討も含め、引き続き供給体制の強化を図ってまいります。」

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報室 TEL：03-3296-3008

担当：関塚、片山、阿曾村